

登録有形文化財（建造物）の登録について

平成30年11月16日（金）に国文化審議会が開催され、同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、下記の文化財の登録が文部科学大臣に答申される予定です。今後、官報告示を経て、登録文化財原簿に登録されることとなります。

本県関係では、平成30年7月20日答申の平成大野屋本店平蔵など3件に続くもので、合計196件となります。

【答申予定の登録有形文化財（建造物）2件】

名 称	員 数	所 在 地	所 有 者	建 築 年 代
きただにどうぐほくぶつかん 北谷道具博物館 きゆうきただにゆうびんきょく (旧北谷郵便局)	1 棟	勝山市北谷町 谷 87-7-1	学校法人きのくに 子どもの村学園	大正後期建築、 昭和 12 年改修
たにしゅうかいじょう 谷集会場	1 棟	勝山市北谷町 谷 87-6	谷区	昭和 28 年

きただにどうぐはくぶつかん きゅうきただにゆうびんきょく たにしゅうかいじょう
北谷道具博物館（旧北谷郵便局）・谷集会場について

両建物とも勝山市北東部の北谷町谷の集落中心部に位置する。雪深い山村集落にある洋風建築で、いずれも郵便局、集会場として長く地域で親しまれた建物である。



位置図



中央が北谷道具博物館（旧北谷郵便局）、右奥が谷集会場

きただにどうぐはくぶつかん きゅうきただにゆうびんきょく
北谷道具博物館（旧北谷郵便局）について



玄関ポーチマーク

- ・所在地 勝山市北谷町谷 87-7-1
- ・所有者 学校法人きのくに子どもの村学園
- ・年代 大正後期建築、昭和 12（1937）年改修
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴

北谷道具博物館の建物は、大正後期に民家として建てられ、昭和 12 年に北谷郵便局の建物となり、外観を洋風に改修し、内部も郵便局として改修された。昭和 60 年の閉局まで白峰方面と福井をつなぐ拠点として利用に供した。

平成 27 年、近隣のかつやま子どもの村小中学校が建物を譲り受け、北谷の昔の暮らしの道具を展示する博物館として今春開館した。

建物は、木造二階建てで、外観はペンキ塗の下見板張を施す。今も郵便局舎の外観を留め、県内に残る数少ない郵便局舎として貴重である。



たにしゅうかいじょう

谷集会場について

- ・所在地 勝山市北谷町谷 87-6
- ・所有者 谷区
- ・年代 昭和 28（1953）年
- ・登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ・特徴

谷集会場は、昭和 28 年に谷青年部の集会場として谷青年部を中心に地元建てられた。北谷郵便局と同様に洋風建築で、木造二階建てで、1 階は畳敷きの集会場が設けられ、2 階は一室の広い空間であり卓球場として使われたという。

現在も、谷区の集会場として利用され、隣の旧北谷郵便局と共に、雪深い集落の中、洋風建築が並ぶ洒落た景観をつくりだしている。



玄関ポーチマーク
上：谷、下：青年の青

